

住宅瑕疵担保履行法 基準日届出システム 届出事業者向けマニュアル

環境設定

2022年3月16日

改訂履歴

No.	更新日	更新内容
1	2022/3/16	新規作成

1. はじめに

1 - 1. 本書の目的

本資料は、住宅瑕疵担保履行法 基準日届出システム（以下、本システムと記載）に関して、届出事業者様向けの操作方法をまとめたご説明資料となります。

特に、本マニュアルでは、本システムを利用する際に必要なWebブラウザの環境設定方法を記載します。

2. 動作環境

2 - 1. 利用端末

本システムは、PC（パーソナルコンピュータ）端末を利用し、インターネット経由でアクセスします。
携帯電話やスマートフォンからはご利用いただけませんのでご注意ください。

2 - 2. 推奨ブラウザ

ブラウザは、以下のいずれかをご利用ください。

- Microsoft Edge
- Google Chrome
- Firefox

- ※ 推奨ブラウザ以外をご利用いただいた場合、表示や動作が正しく行われないう可能性がございます。
- ※ Microsoft Edgeの[Internet Explorer (IE) モード]はサポートしておりません。

2-3. ブラウザに関する事前設定

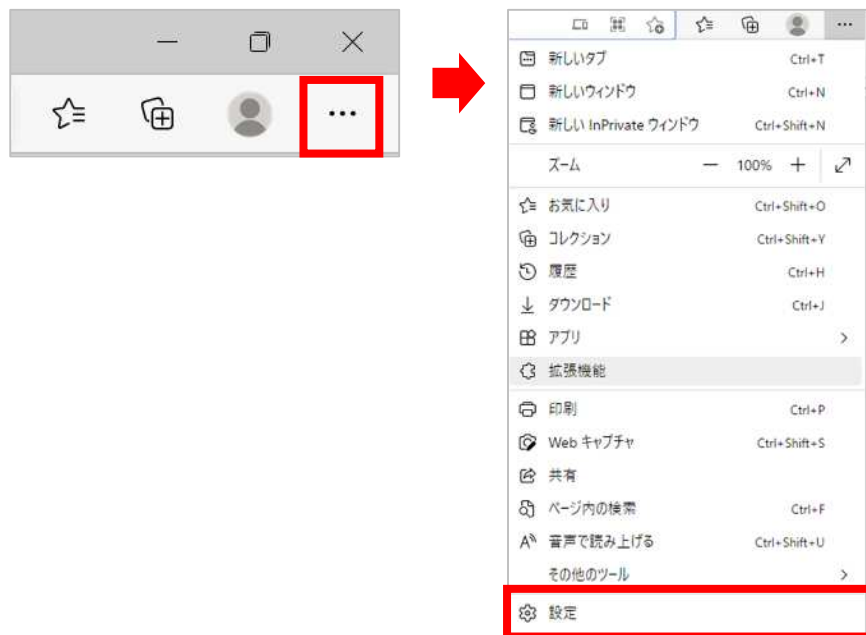
本システムの利用前に、必ず、本章に記載の事前設定を行ってください。
未設定の場合、画面等が正常に表示されない可能性があります。

2.3.1 Javascriptの有効化

ブラウザ毎の設定手順を以下に記載します。ご利用いただくブラウザで設定を行ってください。

■ Microsoft Edge

1) ブラウザを起動し、画面右上の三点リーダー[⋮]を押下し、[設定]を選択します。



2-3. ブラウザに関する事前設定

2.3.1 Javascriptの有効化

■ Microsoft Edge

2) 設定のメニューから[Cookieとサイトのアクセス許可]を選択します。



2-3. ブラウザに関する事前設定

2.3.1 Javascriptの有効化

■ Microsoft Edge

3) サイトのアクセス許可から[JavaScript]を選択します。



2 - 3. ブラウザに関する事前設定

2. 3. 1 Javascriptの有効化

■ Microsoft Edge

4) サイトのアクセス許可 / JavaScriptから[許可 (推奨)]をオンにします。



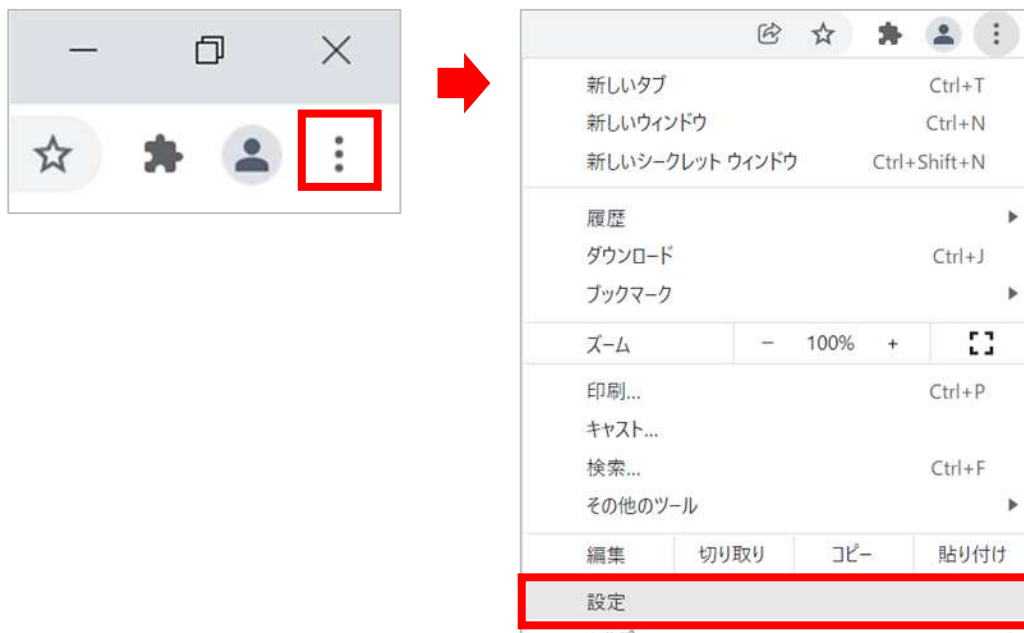
以上で設定は完了となります。ブラウザを再起動してください。

2-3. ブラウザに関する事前設定

2.3.1 Javascriptの有効化

■ Google Chrome

1) ブラウザを起動し、画面右上の三点リーダー[...]を押下し、[設定]を選択します。

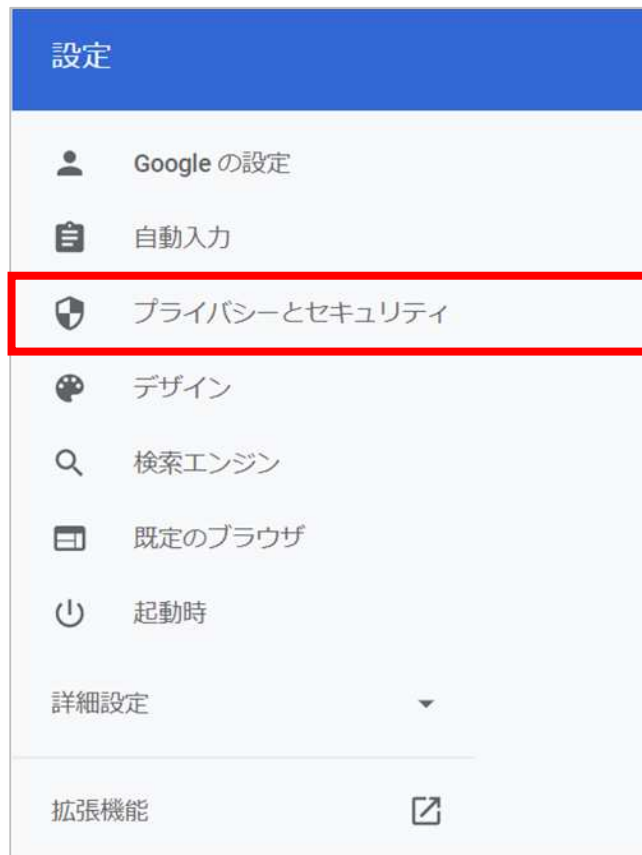


2-3. ブラウザに関する事前設定

2.3.1 Javascriptの有効化

■ Google Chrome

2) 設定のメニューから[プライバシーとセキュリティ]を選択します。



2-3. ブラウザに関する事前設定

2.3.1 Javascriptの有効化

■ Google Chrome

3) プライバシーとセキュリティから[サイトの設定]を選択します。



2 - 3. ブラウザに関する事前設定

2. 3. 1 Javascriptの有効化

■ Google Chrome

4) コンテンツから[JavaScript]を選択します。



2-3. ブラウザに関する事前設定

2.3.1 Javascriptの有効化

■ Google Chrome

- 5) JavaScriptから、デフォルトの動作において、[サイトがJavaScriptを使用できるようにする]を選択します。



以上で設定は完了となります。ブラウザを再起動してください。

2 - 3. ブラウザに関する事前設定

2. 3. 1 Javascriptの有効化

■ Firefox

1) ブラウザを起動し、アドレスバーに「about:config」と入力し、Enterキーを押します。



※ 注意画面が表示されたら内容をよく読み、[危険性を承知の上で使用する]をクリックします。



注意して進んでください！

高度な設定を変更すると、Firefox のセキュリティ、パフォーマンスに深刻な問題を引き起こす恐れがあります。

これらの設定にアクセスするときは、警告を表示する

危険性を承知の上で使用する

2 - 3. ブラウザに関する事前設定

2. 3. 1 Javascriptの有効化

■ Firefox

2) 検索フォームに「javascript.enabled」と入力し、表示される値を確認します。

true の場合は、すでにJavaScriptは有効になっています。

fales の場合は、項目欄をダブルクリックするか、右側の[切り替え]ボタンを押下することでtrueに変更します。



以上で設定は完了となります。ブラウザを再起動してください。

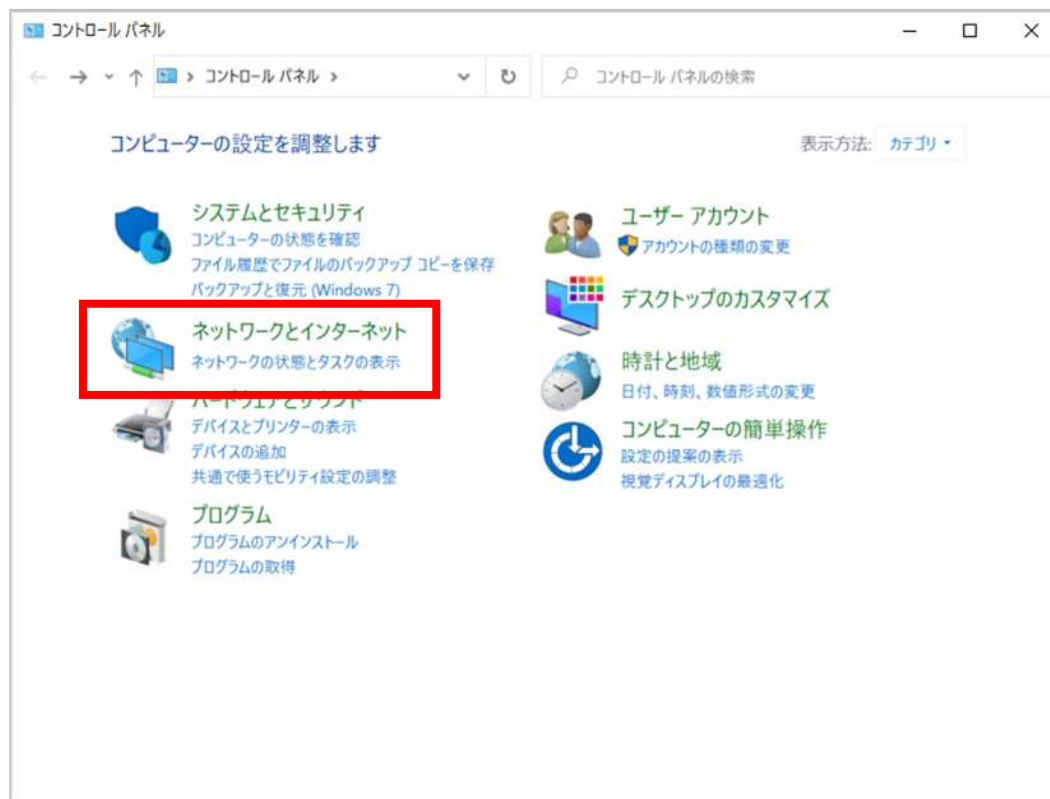
2-3. ブラウザに関する事前設定

2.3.2 TLS1.2の有効化

ブラウザ毎の設定手順を以下に記載します。ご利用いただくブラウザで設定を行ってください。

■ Microsoft Edge / Google Chrome

1) [コントロール パネル]を開き、[ネットワークとインターネット]を選択します。

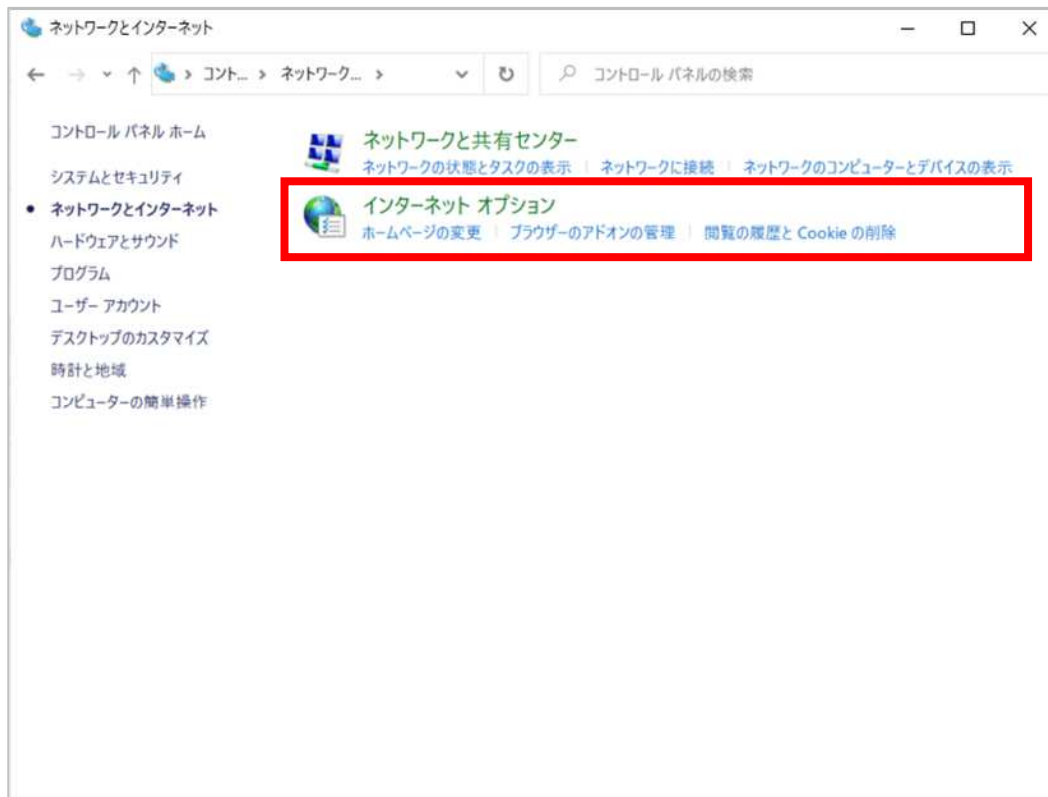


2-3. ブラウザに関する事前設定

2.3.2 TLS1.2の有効化

■ Microsoft Edge / Google Chrome

2) [インターネットオプション]を選択します。



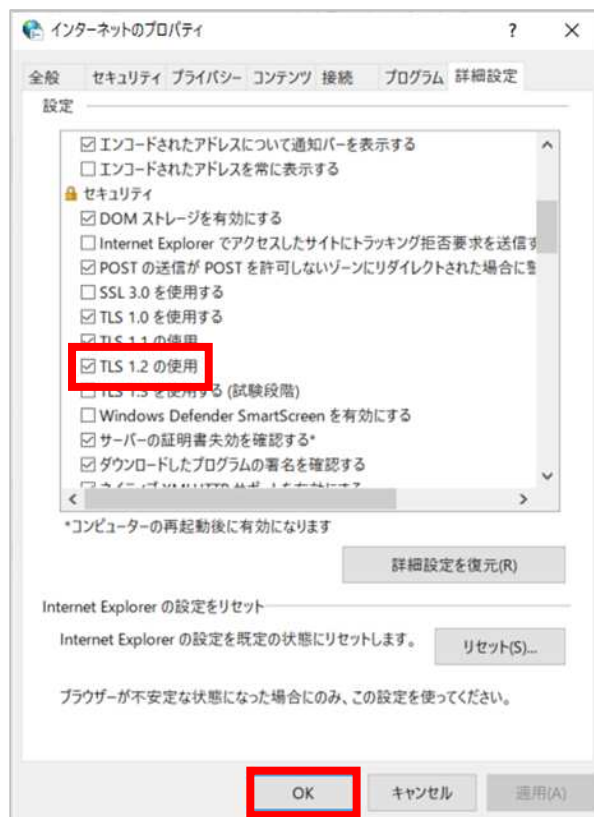
2-3. ブラウザに関する事前設定

2.3.2 TLS1.2の有効化

■ Microsoft Edge / Google Chrome

3) インターネットのプロパティから[詳細設定]タブを選択し、セキュリティ欄の以下項目にチェックを入れ、[OK]をクリックします。

TLS 1.2を使用



2 - 3. ブラウザに関する事前設定

2. 3. 2 TLS1.2の有効化

- Microsoft Edge / Google Chrome

以上で設定は完了となります。ブラウザを再起動してください。

2-3. ブラウザに関する事前設定

2.3.2 TLS1.2の有効化

■ Firefox

1) ブラウザを起動し、アドレスバーに「about:config」と入力し、Enterキーを押します。



※ 注意画面が表示されたら内容をよく読み、[危険性を承知の上で使用する]をクリックします。



2-3. ブラウザに関する事前設定

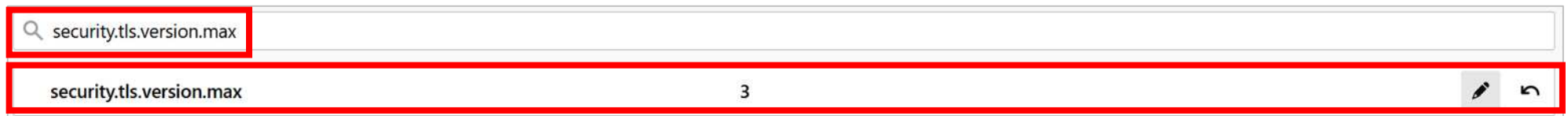
2.3.2 TLS1.2の有効化

■ Firefox

2) 検索フォームに「security.tls.version.max」と入力し、表示される値を確認します。

3以上の場合は、変更は必要ありません。

2以下の場合は、項目欄をダブルクリックするか、右側の[値を変更]ボタンを押下し、3に変更します。



以上で設定は完了となります。ブラウザを再起動してください。

2 - 4 . その他ソフトウェア

マニュアル等の閲覧において、以下のソフトウェアが必要となります。

PC端末に未インストールの場合は、システム利用前にインストールをご実施ください。

- Adobe Acrobat Reader